



仲間と一緒に

暦の上では、もう夏。草木の生長する勢いと眩しい日差しに、確かに夏を感じるこの頃です。本年度の学校生活もスタートして、早ひと月が経ち、どの学年も少しずつ軌道に乗り始めたように思います。先週は3年生の修学旅行と京都トレーニングセンターでの1, 2年生宿泊学習がありました。新学期が始まってすぐの学年行事でしたが、みんな「何のための行事か」ということを十分に考えて取り組めたのではないかと思います。コロナ対応が大きく緩和され、どの学年も久しぶりに心置きなく、伸び伸びと活動できました。これまで「当たり前」だったことを、今改めて「有り難い」と感じる経験ができたことは、生徒にとっても意味があったと思います。

本年度は「生徒が仲間どうしの関係の中で育ち合う学校づくり」を進めていきたいと考えています。生徒の持っている力は大人の予想を超えることがしばしばあります。私たち教職員は、そんな生徒の力と可能性を信じて、成長を支えていきたいと思っています。

校長 谷口 恭子

京都トレーニングセンター*宿泊学習 1年生&2年生

【2年生の感想】◆最高の2日間でした!! みんなの優しさも見られたし、みんなが笑って、それにつられて笑ったりして、言葉じゃ伝わらないくらい、とても楽しかったので、いろんな人たちに感謝でいっぱいです! ◆やっぱり仲の良い人だけでなく、あまり話したことのない人ともしゃべってみるということは、とても大切なことなんだと改めて気づきました。◆これからの学校生活でも、もっといっぱい話して、いっぱい知って、どんどん仲良くなれるようにしたいなと思いました。◆夜と朝に部屋の人々と話したことで、普段あまりしゃべらない人ともしゃべってみて、私がイメージしていた「こんな人なのか」というのと違って驚きました。◆当日のお昼のレクリエーションもみんなで考えた「大川先生と森先生から逃げろ!」も、とても盛り上がったし、他の班のレクリエーションもとても楽しかったです。◆自然と気配りができていて素敵だと思い、それをみんなが「ありがとう」をちゃんと言っていて良いことだなと思いました。

【1年生の感想】◆一人ひとりが役割を持って行動できたところが良いと感じました。◆みんなで布団のシーツの敷き方を考えて敷くことができたことが印象に残っています。みんなでもっといろんな話をして仲を深めていきたいなと思いました。◆今回は協力性、団結力が重視される宿泊学習だと思った。今後は宿泊学習で身につけたこと、学んだことを大切に、学校生活を送りたい。◆部屋の仲間と夜、話したのが思い出です。◆それぞれの人の得意、不得意が分かったり、良いところが分かった。◆思い出に残っているのは最後にやったドッチビーやおにごっこです。みんなと協力してできたことが嬉しかったし、楽しかった。



3年生＊長崎[修学旅行] 5月10日～12日＊学びの旅＊



【 平和宣言 】

私たちは今、修学旅行で、ここ長崎に来ています。今から78年前の1945年8月9日、ここ長崎には原子爆弾が投下されました。原子爆弾によって多くの命が失われ、今も放射能や後遺症によって苦しんでいる方々がおられます。

私たちは修学旅行に向けての学習で「平和」の大切さ、戦争は戦争中だけでなく、終わってからも人を苦しめてしまうものであること、原子爆弾の怖さ、戦争が人の感覚を壊してしまうものであることを学びました。そして何より、今の私たちの生活は、戦争の被害を乗り越え、平和な世界を作ろうとした人たちのおかげであると思いました。

だからこそ思います。戦争を繰り返してはいけません。

そのために戦争を忘れてはいけません。

私たちは戦争を経験していません。しかし、今の世界には紛争や戦争が、今も行われています。だからこそ私たちは平和の意味を考え、平和を大切にするための行動をしていくことが必要です。

私たちは、まず、隣にいる人、自分自身を大切にしたいと思います。そして、平和の意味と戦争の怖さを伝え続けていきます。

私たち蒲生野中学校3年生は、戦争がない世界のため、戦争を繰り返させないため、私たちが行動し、そして、次の世代へ思いをつないでいくことを誓い、「平和宣言」とします。

令和5年5月11日 蒲生野中学校 3年生一同



～忘れない～長崎の街・仲間と過ごした時間